

# 岩松地区 生涯学習推進会

人口：10,063人 世帯数：4,133世帯（岩松小学校区以外を含む）（平成31年1月1日現在）



スローガン

まちづくりセンターを拠点にして、各種団体と連携し、明るく住みよい豊かな地域づくりの推進を図りましょう



会長 大芝 収

沿革

旧名は岩本村、松岡村と呼び、合併を経て現在の地名となりました。岩松北地区の発足に伴い、松岡の大部分を以って岩松地区と称し、平成28年度より岩松小学校区内の住民で生涯学習推進会岩松地区を構成しています（行政区の岩松地区には、富士第一小、第二小校区もあります。）

## 岩松のみどころ

岩松地区の魅力は何と言っても、岩本山から水神社までの堤防、通称「かりがね堤」から富士山を望めることです。春の桜、秋の彼岸花、10月のかりがね祭りにあわせて開花するコスモスなどが見物です。

江戸時代に富士川の氾濫・洪水を防ぐために、当時の代官、古郡氏三代により53年間かけて築かれました。水が溜まる遊水池を作り、勢いの強い水を溜まった水にぶつけて弱くし、直接堤防に当てないようにする堤が作られました。その姿が、群れをなして飛ぶ雁の姿に似ていることからこの名前が付けました。岩本山から見るとよく分かります。

毎年10月の第一土曜日に、恒例の「かりがね祭り」が開催されます。火のついた松明をカゴに投げ入れる「投げ松明」が有名です。投げ松明は、富士川流域で昔から行われていたお盆の行事です。先祖の供養と川で溺死した人の供養方々やっていたようです。



## 生涯学習の活動

### 【まちづくり協議会とのかかわり】

まちづくり協議会が主催する行事は「かりがね祭り」「市民体育祭」「地区文化祭」「市民安全大会」「地区どんどん焼き」などがあります。「かりがね祭り」は岩松北地区と共催で実行委員会が組織されています。「市民安全大会」は交通安全・防災・防犯を一年毎に実施しています。生涯学習では協議会の一員として全面的に協力しています。「市民体育祭・地区文化祭」は生涯学習が主導で運営に携わり、「地区どんどん焼き」には関わっていません。

### 【岩松生涯学習の特色】

役員を選出方法について規約改正を重ねて、人選基準を世帯割合として各町内から毎年選出しています。初年選出の本部役員の任期を2年とし、再任の任期を1年としました。

また、1年目は副部長、2年目は部長又は副部長、基本2年で退任できるようにしました。再任は副会長、副部長として、退任者の一部の方には協力員として登録していただいています。

岩松北地区の「灯籠作り教室・灯籠流し」に共催し、岩松地区の「凧作り教室・凧揚げ大会」に共催していただいています。かりがね祭りを始め、両地区の絆は強いです。

## 青少年育成部

青少年の健全育成を目的とした朝の挨拶運動、夜の補導パトロール、かりがね祭りでのロープジャンピング大会、小中学校PTAと連携した5団体教育講演会、凧作り教室・凧揚げ大会と年間を通して子どもたちとの触れ合いを大切に活動しています。



▲かりがね堤での凧揚げ大会

## 生活文化部

10月の最終日曜日の地区文化祭が主要行事です。

地区文化祭では、作品展示・ステージ発表・模擬店などを岩松小学校の体育館・運動場で実施しています。



▲地区文化祭での作品展示

## 体育保健部

年間を通しソフトボール、ファミリーバドミントン、市民体育祭、バレーボール、インディアカなど、地区住民の交流と親睦を図り、日頃のストレス解消、体力健康増進を目的とした、各種スポーツ大会を開催しています。競技によっては、子どもからお年寄りまで参加いただき、楽しむ大会を目指しています。



▲体育祭の五十三次「カゴ」リレー

## 生活安全部

地区の安協岩松分会と活動を共にし、地域の交通安全に重点を置いた活動を長年行ってきましたが、平成29年度からは防犯にも重点を置いて活動を始めました。

安心・安全な町づくり、地域づくりを進めていきます。

## 総務部

事業計画および各部の活動状況に合わせ、受付、案内状発送、資料作成などを行っています。また、まちづくり協議会が発行している新聞の編集委員も務めています。